

走行チェックシート

日付	2013年6月2日 (日)		時間	12:35 ~		イベント	2013MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦		
天気	雨		マシン	GSX-R1000 L3		ライダー	今野由寛		
コース	名称	オートポリス				気温	19 °C		
	コンディション	レイン				気圧	920 hpa		
	路面温度	20		(計測時間 12:30)		湿度	78 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10			エンジンOIL	シェルアドバンス ウルトラ10W-40			
	ファイナルレシオ	16 x 45(2.81)							
トランスミッション	1st	A(36/17)	2.11		4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	A(37/20)	1.85		5th	C(30/22)	1.36		
	3rd	B(36/22)	1.64		6th	C(32/25)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)			TEN	-14			
	スプリング	10.50		N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長	-		mm	油面	195		mm	
	イニシャル	14		mm	残ストローク	mm			
	COMP	-10				突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し		mm
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)			TEN	-10			
	スプリング	120.0		N/m	残ストローク	mm			
	自由長			mm	リンク	SPL			
	イニシャル	8		mm	リンクロッド	-			
	COMP(HI)	+1				車高	STD+25mm ピボット-2mm スイング長599mm		mm
	COMP(LO)	-12							
タイヤ	フロント				リア				
	銘柄	ダンロップ			銘柄	ダンロップ			
	サイズ	120/80/R420			サイズ	200/70R420			
	エア圧	2.1			エア圧	1.5			
チェック	順位	10		位	ベストラップ	DRY 1' 50.628(フリー走行中) RAIN 2'00.340(決勝中)			
	水温			°C	油温	°C			
	ガソリン	IN	-		ℓ	走行距離	km		
		OUT	-		ℓ	燃費	km/ℓ		

<コメント>
 あっという間に九州ラウンドが来てしまいました！
 ちょうど？梅雨入り宣言もされましたね。ここオートポリスは雨が降ると霧も出るため通常のレインコンディションとは違います。
 昨年は路面を張り替えたこともあり、路面のグリップが非常に高くフロントタイヤが減っていくのがわかるくらいでした。
 今年は路面が少しなじんで来たためグリップは落ち着いてきているみたいです。
 事前テストは天候にも恵まれ、リンクの仕様違いのテストなどを行いました。
 最終的に自己ベスト付近までいきましたが、いくつかの課題はレースウィークに持ちこしました。
 このサーキットはいろんな要素があるサーキットなので、結構難しいコースです。
 1~2コーナーはスピードを保ったまま下っていき、裏のストレートの先は上りの切り返しセクションです。
 高速での安定性を持たせながら軽快に動く車体が求められます。
 今回は鈴鹿から課題の、ブレーキング時のダイブスピードの初期の速さを抑える対策をしました。
 オイルの番手を少し上げて粘度の高いものに変更。
 ブレーキングの沈み込みのイメージはよかったです、圧側が効いた分伸側も効いてしまいました。
 アジャストレベルで対応は難しかったので次回のテストに持ちこすことにして以前の仕様のサスでレースを戦うことに。
 フリー走行は自己ベストを更新しましたが、予選は雨。
 気温も低くなかなかペースが上がりますが踏ん張ってQ2に進出。
 Q2は15分間ですが序盤から終盤にかけて雨量が増えてしまい、Q1よりタイムアップできず9番手で終了。
 翌日決勝日も雨、しかし雨量は少なく路面はハーフウェット状態に。
 悩みましたが少し硬めのタイヤをチョイス。
 決勝レースが始まり一周目は11位で通過。その後ひとつ順位を下げましたが中盤から追いついていき2台をパスして10位でチェッカー。
 スタート直後のペースをもう少し上げることができれば前方の集団でバトルができます。
 課題は多いですが絞られてきたような気がします。
 次回筑波はホームコースですので気合が入ります。いい結果を残して鈴鹿8耐に挑みたいと思います。
 今回も遠いところから応援に来てくださった方がた、また協賛して頂いているスポンサー各社様、応援ありがとうございます。

レーシングサブライ
 畑中 健太郎